

第3次

美濃加茂市 教育振興基本計画

令和7年度 - 令和11年度

令和7年3月策定

自分が思い描く幸せな未来を
創造していく子

概要版

I 美濃加茂市教育が「めざす人間像」【教育大綱】

自分が思い描く幸せな未来を創造していく子

#自立力 #共生力 #挑戦力 #ロングスパン教育 #面による指導

- 社会は今、変動性、不確実性、複雑性及び曖昧性が増し、先行き不透明で将来の予測が困難な時代を迎えています。また、超スマート社会（Society5.0）において、AI の進化や DX の進展は、経済や社会構造等に大きな変化をもたらしていくでしょう。
- 言うまでもなく、いつの時代においても新しい時代を築き、担っていくのはこどもたちです。このような将来の予測が困難な時代にあっては、しなやかに対応し、すべてのこどもたちが主体となって、自分や周りの人たち、社会の幸せな未来を創造していく、こどもを中心に据えた教育がより一層求められると、私たちは考えています。
- そのためには、“らしさ”をいかした特色ある教育活動において、こどもたち一人一人の学びが尊重されること。さらに、様々な課題に自分事として向き合い、その解決に向かって、自分で考え取り組み続け、「できた喜び」や「できなかった悔しさ」を体得することにより、自分らしい答えを導く力や困難な状況でも粘り強くやり抜く力、達成感、自己肯定感等を身に付けることが重要です【自立力】。
- また、相手意識をもって建設的に議論し、調整し、一人一人の力を最大限に発揮していく中で、多様な他者が価値ある大切な存在として受容され、安心して参画できる居場所や健康的な暮らしを創っていくこと。さらに、本市の強み（継承された歴史・伝統・文化、連綿と紡いだ人と人との絆、こどもたちの将来を支える仕組み等）をいかし、人・社会・自然とつながり、リアルな関係を広げ深めていくことにより、規範意識や利他性、協働することの尊さ、共感的・協調的な関係性等を身に付けることも重要です【共生力】。
- 【自立力】と【共生力】を発揮しながら幸せな今の創造にのびのびとチャレンジしていく、そして、また【自立力】と【共生力】を発揮しながら幸せな今の創造にのびのびとチャレンジしていく……。この連続と蓄積が、夢や目標、希望、高い志、生きがいを与え、生涯にわたって、幸せな未来を創造していくことへつながっていくものと考えます【挑戦力】。
- そこで、これまで大切にしてきた「FROM-0 歳プラン」の基本理念を継承・発展させ、胎児期から青年期（18 歳頃）までの連続する学びの中で、誰一人取り残さず可能性を引き出す、発達段階に応じた切れ目のない教育を一層推進していきます【ロングスパン教育】。また、幸せな未来像を共有し、こどもたちが社会とつながる機会をつくるなど、学校・家庭・地域・社会がそれぞれの役割を果たしながら、手を携え、チームとしてこどもたちの学びを支える安全・安心な環境づくりを一層推進していきます【面による指導】。
- 本計画では、「自分が思い描く幸せな未来を創造していく子」をめざす人間像に掲げ、ロングスパン教育と面による指導を軸に、教育のより一層の振興を図っていきます。

Ⅱ 第3次美濃加茂市教育振興基本計画 体系図

自分が思い描く幸せな未来



面による指導 「FROM-0 歳プラン」基本理念							Platform
カナリヤの家	保健センター	こども家庭センター	太田宿	記念館	楽習ひろば	子育てカノ	公園
110番の家	行政	地域名人	健康の森	まち協	生涯学習センター	交流センター	図書館
地域企業	里山	放課後児童クラブ	発達支援センター	かも～る	文化の森	のぞみ教室	文化の森
MIEA	障害福祉サービス事業所	家庭	プレスクール	あじさい教室	学校園	あじさい教室	学校園

Ⅲ 具体的な施策

基本目標 1 未来への礎となる力を育む教育の推進

(1) 豊かな人間性の育成

① 人権教育・道徳教育の推進

主な取組	●人権教育における行動力を養う活動の充実 ●「特別の教科 道徳」における指導方法の一層の充実 ●人権教育に関する教職員の資質能力の向上 ●学校、家庭及び地域が連携した道徳教育の推進
指標	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の増加 ・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合の増加

② 豊かな体験活動の推進

主な取組	●美濃加茂の自然・文化資源等に触れて学ぶ体験活動の充実 ●国・県事業等を有効活用した体験活動の充実 ●自然・科学技術のふしぎに触れて学ぶ体験活動の充実
指標	・地域教育資源や学習環境を積極的に活用している教員の割合の増加 ・「みのかも文化の森」学校活用における活用可能日数に対する利用日数の割合の最適化

③ 読書活動の推進

主な取組	●学校図書館の充実 ●関係機関等と連携した読書活動の推進 ●学校図書教育体制の充実
指標	・1か月の間に本を1冊も読まない児童生徒の割合（不読率）の減少

(2) 健やかな体の育成

① 健康教育と食育の推進

主な取組	●健康教育の充実 ●学校保健体制の充実 ●食育の充実
指標	・健康に過ごすために授業で学習したことや保健室の先生等から教えられたことを普段の生活に役立てていると思う児童生徒の割合の増加 ・教職員を対象としたア・レリ自己注射薬(IL[®]ア[®])の実技研修会を実施した学校の割合の増加

② 運動に親しむ機会の充実

主な取組	●運動やスポーツに対する情意の維持・向上を図る取組の充実 ●全国体力・運動能力、運動習慣等調査の積極的活用 ●体力の向上を図る取組の充実 ●各運動領域に関する指導力向上
指標	・小学校・中学校を卒業した後も自主的に運動やスポーツをする時間を「もちたいと思う」「ややもちたいと思う」と回答した児童生徒の割合の増加 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における総合評価C以上の児童生徒の割合の増加

(3) 確かな学力と実践力の育成

① 多様な探究活動の推進

主な取組	●外国語教育4技能5領域における資質・能力の一層の育成 ●デジタル・シティズンシップ教育や情報モラル教育の充実 ●キャリア教育の充実 ●SDGsと関連させた総合的な学習の時間の推進 ●主体的に社会の形成に参画する教育の推進
指標	・総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている学校の割合の増加 ・18歳になったら選挙権を行使しようと考えている児童生徒の割合の増加

② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

主な取組	●学力向上を具現するための指導体制の充実 ●指導改善サイクルの確立 ●教育DXによる学習活動の充実 ●学習指導力を高める研修等の充実
指標	・学級の児童生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童生徒の割合の増加 ・「主体的・対話的で深い学び」を視点とした指導過程を工夫していると思う教員の割合の増加

基本目標２ 可能性を引き出す教育の推進

（１）多様な教育ニーズへの対応

① いじめの未然防止と不登校の早期対応の徹底

主な取組	●「学校が楽しい！」と言える学校づくりの推進 ●組織的対応の強化	●学校風土の「見える化」と児童生徒理解の深化
指標	・困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答した児童生徒の割合の増加 ・認知したいじめのうち、解消したものの割合の増加	

② すべての子どもたちが学びにアクセスできる環境の整備

主な取組	●教育相談体制の充実 ●関係機関との連携強化	●社会的自立を支援する多様な学びの場の整備促進
指標	・学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない不登校児童生徒の割合の減少 ・学校生活へ復帰（高校進学を含む）した児童生徒の割合の増加	

③ 多文化共生社会をめざした教育環境の整備

主な取組	●文化理解の促進 ●中学校卒業後を見据えた進路指導の充実	●外国人児童生徒への適応指導や日本語指導による学習保障に向けた取組の推進
指標	・人権教育や国際教育を充実させ、多文化共生の意識を高めていると思う教員の割合の増加 ・日本語指導が必要な生徒のうち、就職または高等学校等へ進学した生徒の割合の増加	

④ 特別支援教育の推進と医療的ケアの充実

主な取組	●人々の多様な在り方を認め合える「インクルーシブ教育システム」の構築 ●個別の教育支援計画の作成・引継の充実 ●相談窓口の周知、児童生徒の困り感の早期発見・早期対応の拡充	●教育支援委員会による適正な就学と関係機関と連携した早期支援体制の整備 ●特別支援教育に関する資質の向上 ●医療的ケア体制の整備
指標	・個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成を必要とする児童生徒のうち、実際に作成されている児童生徒の割合の増加 ・教育センター主催の特別支援教育講座に出席した人数の増加	

（２）連続性のある学びづくり

① 里山保育の推進

主な取組	●市内全域を保育のフィールドとした生きる力及び非認知能力の育成 ●小学校へつなぐ仕組みづくり	●里山保育士の育成
指標	・里山保育（保育内容）の満足度の向上	

② 幼保小中高特における円滑な接続に向けた連携推進

主な取組	●教職員の連携を図り課題を共有した連続性のある取組 ●小１プロブレムや中１ギャップ等就学・進学時の困り感や不適應の予防	●就学前の外国人児童が日本の言葉や文化に適應するためのプレスクールの充実 ●関係機関による連携強化と支援充実
指標	・近隣等の学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行っている学校の割合の増加	

基本目標3 学びを支える環境の整備

(1) 安全・安心で質の高い教育環境の整備

① 教職員研修の充実と働き方改革の加速

主な取組	●教職員のキャリアステージに応じた資質能力の伸長 ●不祥事の根絶	●教職員の働き方改革の加速
指標	・校内・校外の各種研修等を活用し、教科指導、生徒指導、学級経営の指導力向上に努めている教員の割合の増加 ・教職員の時間外勤務時間の減少 ・教職員のストレスチェックにおける高ストレス者の割合の減少	

② 安全・安心を守る教育の推進

主な取組	●安全教育の充実 ●家庭、地域及び関係機関等との連携による安全体制の強化	●危機管理マニュアルの充実と徹底
指標	・危機管理マニュアルをすべての教職員に対してその内容を周知し、共通理解を図った学校の割合の増加 ・有識者、消防署及び警察等、関係者との協働による防災教育・避難訓練を実施した学校の割合の増加	

③ 社会の変化に対応した学校の整備

主な取組	●児童生徒の安全で快適な学習環境と教職員の職場環境の実現 ●小規模特認校制度を実施する学校の教育活動の充実	●学校教育系施設の適正な配置
指標	・学校施設のトイレ洋式化率の増加 ・学校施設（普通教室、特別教室、管理諸室、体育館）の空調設置率の増加	

(2) 地域ぐるみで子どもたちを育てる教育環境の整備

① 地域と学校とが連携した望ましい部活動の推進

主な取組	●運営体制の構築 ●指導者の確保と資質向上	●活動の在り方に係るガイドラインの策定と遵守
------	--------------------------	------------------------

② 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進

主な取組	●一体的推進を図る運営体制の構築	●伴走支援体制の構築とコーディネート機能の充実
指標	・学校運営協議会の熟議や協議の充実度の上昇 ・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まったと認識している学校の割合の増加	

③ 家庭教育を支援する環境の整備

主な取組	●子育てに関する実践活動や家庭教育に関する啓発活動の継続的支援 ●各家庭の状況に応じたきめ細かな支援を実施する体制の整備	●安心して子育てができる環境づくりの一層の推進 ●保護者の育児と仕事の両立を支援
指標	・家庭教育学級の参加率の増加	

IV 具体的な施策の展開

F-0推進課を中心としながら関係課が連携して各具体的な施策を展開することとします。

基本目標1 未来への礎となる力を育む教育の推進														
施策	具体的な施策	F-0推進課*												
		まちづくり	ひとづくり	スポーツ振興	文化振興	健康	こども未来	子育て支援	福祉	商工観光	農林	環境	総務	防災安全
(1)豊かな人間性の育成	① 人権教育・道徳教育の推進		●											●
	② 豊かな体験活動の推進		●	●	●									●
	③ 読書活動の推進		●											●
(2)健やかな体の育成	① 健康教育と食育の推進					●					●			●
	② 運動に親しむ機会の充実			●										●
(3)確かな学力と実践力の育成	① 多様な探究活動の推進		●		●		●			●		●	●	●
	② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善													●
基本目標2 可能性を引き出す教育の推進														
施策	具体的な施策	F-0推進課												
		まちづくり	ひとづくり	スポーツ振興	文化振興	健康	こども未来	子育て支援	福祉	商工観光	農林	環境	総務	防災安全
(1)多様な教育ニーズへの対応	① いじめの未然防止と不登校の早期対応の徹底					●		●	●					●
	② すべてのこどもたちが学びにアクセスできる環境の整備					●		●	●					●
	③ 多文化共生社会をめざした教育環境の整備	●					●	●						●
	④ 特別支援教育の推進と医療的ケアの充実					●	●	●	●					●
(2)連続性のある学びづくり	① 里山保育の推進						●							●
	② 幼保小中高特における円滑な接続に向けた連携推進					●	●	●	●					●
基本目標3 学びを支える環境の整備														
施策	具体的な施策	F-0推進課												
		まちづくり	ひとづくり	スポーツ振興	文化振興	健康	こども未来	子育て支援	福祉	商工観光	農林	環境	総務	防災安全
(1)安全・安心で質の高い教育環境の整備	① 教職員研修の充実と働き方改革の加速													●
	② 安全・安心を守る教育の推進	●	●			●								●
	③ 社会の変化に対応した学校の整備													●
(2)地域ぐるみでこどもたちを育てる教育環境の整備	① 地域と学校とが連携した望ましい部活動の推進		●	●	●									●
	② 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進	●	●				●							●
	③ 家庭教育を支援する環境の整備					●	●	●	●					●

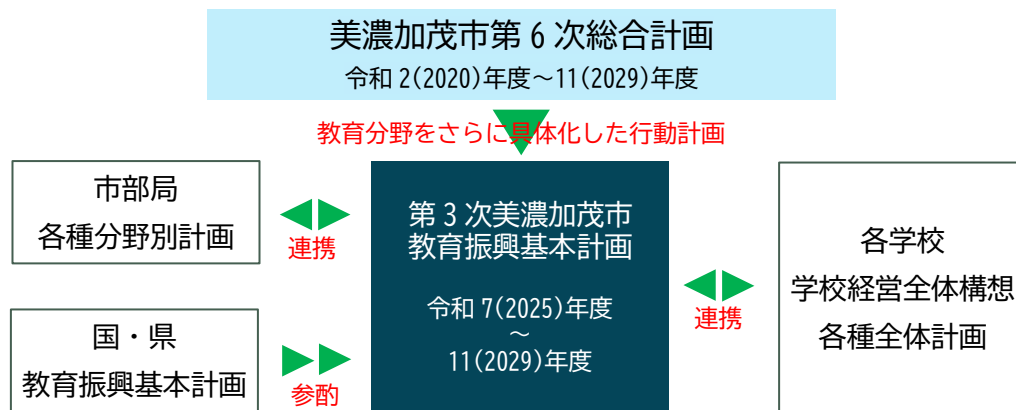
V 計画の概要

1 計画の位置付け

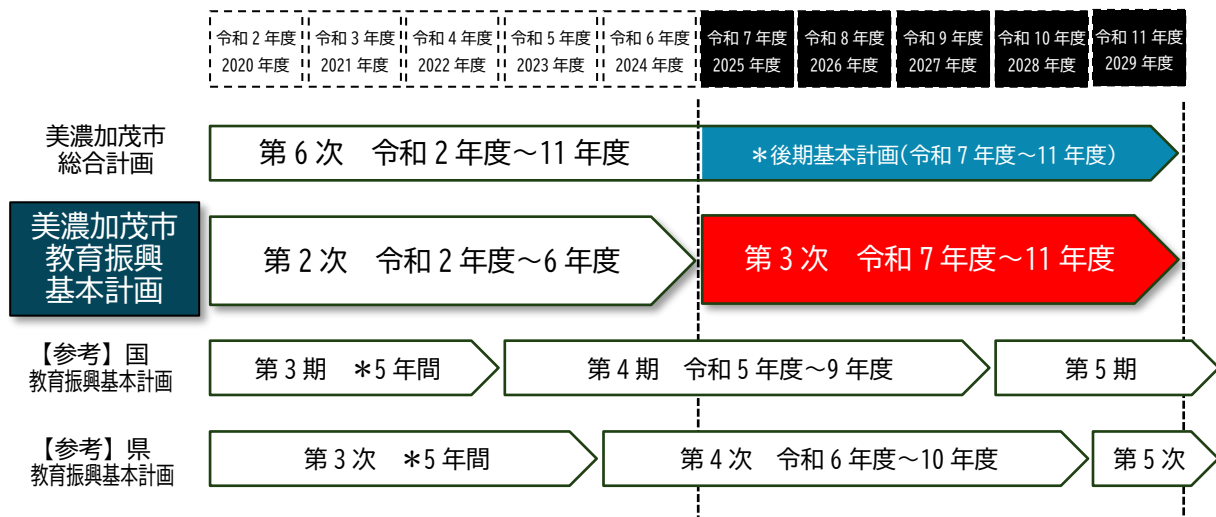
教育基本法第17条第2項に基づき、国の「第4期教育振興基本計画」及び県の「第4次岐阜県教育振興基本計画」を参酌し、本市の実情に応じた教育を振興するための基本的な計画です。

また、本市の最上位計画である「美濃加茂市第6次総合計画」の教育分野をさらに具体化した行動計画であり、他部局の各種分野別計画との連携を図りながら事業を推進するものです。

なお、各学校においては、本計画に定める、「めざす人間像」の実現をめざして学校経営全体構想や各種全体計画を作成し、教育活動を実施するよう努めていきます。



2 計画の期間



3 計画の進捗管理

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づく教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等において、目標とする客観的な指標を設定し、実績及び効果を数値で把握するとともに、数値だけでは表せない実態があるため、施策推進にまつわるエピソードやこどもたちの反応等、関連する情報を収集するなど、多面的に状況分析・評価を行います。